

東西しらかわ農業協同組合
事業のご案内
(令和8年度半期開示)

第26期

令和8年3月1日
令和8年8月31日



はじめに

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

J A東西しらかわは、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当J Aに対するご理解を一層深めていただくために、主な事業内容や組織概要、経営の内容や地域貢献活動について、利用者にわかりやすくまとめた「令和8年度半期開示」を作成いたしました。

J Aの事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

今後とも一層の皆様の御理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年10月

東西しらかわ農業協同組合
代表理事組合長 菊池 教夫

J A 綱 領

— わたしたちJ Aのめざすもの —

わたしたちJ Aの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立つて環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地球・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、J Aへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J Aを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追及しよう。

目 次

半 期 開 示 項 目

I．財務状況・事業に関する事項

1	金融再生法開示債権		1
2	主要勘定の状況		1
3	有価証券等時価情報		1

II．社会的責任と貢献活動		2
---------------	-------	---

半 期 開 示 項 目

(令和8年8月末基準)

I. 財務状況・事業に関する事項

1 金融再生法開示債権（単体）

(単位:百万円)

債権区分	令和8年8月末	令和8年2月末	増減
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	86	123	△37
危険債権	122	138	△16
要管理債権	0	0	0
正常債権	19,920	19,178	742
合 計	20,128	19,439	689

令和8年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- (1)各債権区分は、令和8年2月末時点の債権額を基準として、令和8年8月末時点の残高に修正している。
- (2)令和8年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更している。

2 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和8年8月末	令和8年2月末	令和7年8月末
貯 金	62,281	65,402	61,879
貸 出 金	20,128	19,440	19,581
預 け 金	36,164	38,149	37,523
有 価 証 券	2,554	3,187	3,217

3 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

区分	令和8年8月末			令和8年2月末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	3,590	2,554	△1,036	3,989	3,187	△802
合 計	3,590	2,554	△1,036	3,989	3,187	△802

8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。

II. 社会的責任と貢献活動

組合員の営農と生活を守るというJA本来の責任と併せて、安全・安心な食料の安定供給の確保、次世代への食農教育活動と地域社会への貢献という社会的責任を実現する活動を展開しています。

1. JAの持つ社会的責任と公共的使命を認識し、健全な事業運営の徹底をはかっています。

農協法第1条においては、「農業者の協同組織の発達を促進することにより、農業生産力の増進及び農業者の経済的社会的地位の向上を図り、もつて国民経済の発展に寄与することを目的とする。」と規定されています。

このようにJAには、社会的責任と公共的使命が負託されており、あわせて協同組合組織としての存在目的との両立が求められていることを、常に私たちは意識しながら事業を遂行していきます。

こうした社会的責任と公共的使命を全うするためには、業務の健全かつ適切な運営が求められています。

このためJAにあっては、経営の自己責任原則を徹底するとともに、倫理に関するルールを構築し、これを組織全体に浸透・定着させています。

2. 「農」と「共生」の地域社会づくりによる、安心して暮らせる地域社会への貢献活動を行っています。



夏秋野菜「みりよく満点」トップセール

・JA東西しらかわは、管内市町村・関係機関との連携により、昨年に引き続き4回目のトップセールスを実施しました。

JA管内の安全・安心な「みりよく満点」ブランドの宣伝活動を実施。官民一体となり全国的に産地PRを行いました。

(仲卸やバイヤーへ夏秋野菜を贈呈しました)



選果場竣工式でのテープカット



種子乾燥施設竣工式での玉串拝礼

・5月に本店内に「きゅうり選果場」が完成しました。

高齢化する農業の現状を踏まえ、選果作業の負担を軽減し、生産者の増加と栽培面積拡大を期待し、地域農業の発展に貢献します。

また、8月には矢吹町に新築した種子乾燥施設の竣工式を執り行いました。

高性能な設備により、作業効率の改善や燃料使用量の削減をはかり、コスト削減に取り組めます。

・ＪＡ東西しらかわ青年連盟では、管内の２小学校において、田んぼに見立てた「バケツ稲」による体験を実施しました。

この活動は、子どもたちの食農教育の一環として実施しており、身近に食べている「ご飯」が出来るまでの一連の作業を学びました。

活動を通じて農業に関心を持ってもらい、将来の農業発展へ貢献しています。



管内小学校での「バケツ稲」体験学習

・農産物直売所「みりよく満点物語」では地元幼稚園児を受入れ、野菜販売会体験を行いました。消費者と直接触れ合うことで園児たちに地元野菜の素晴らしさを伝え、食農教育に貢献しています。



幼稚園児による野菜販売会

3. 地域貢献情報

ＪＡ東西しらかわは、福島県南部の白河市表郷（白河市関辺地区を含む）、東白川郡棚倉町、塙町、矢祭町、鮫川村、西白河郡矢吹町（三神地区を除く）と岩瀬郡天栄村の一部を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当ＪＡの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当ＪＡでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当ＪＡは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、ＪＡの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

地域からの資金調達の状況

(1) 貯金残高 622 億 80 百万円

(2) 貯金商品

新生活応援として「スプリングキャンペーン」を実施し幅広いお客様に好評をいただいております。また、みりよく満点金融商品として、「給振定期貯金」「シルバー定期貯金」や定年退職を迎えた方の第二の人生を応援する特別優遇金利商品「退職金定期貯金」等を取り扱っております。

地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高 201 億 28 百万円

（うち組合員 145 億 99 百万円）

（うち地方公共団体 16 億円）

（うちその他 39 億 27 百万円）

(2) 制度資金取扱状況

地域農業の発展と豊かな暮らしづくりを支援するため、各種制度資金を取り扱っております。

- ・農業近代化資金

農業者等が農業の近代化と新たな事業展開を図るために必要な長期資金を提供します。

- ・その他制度資金

自然に左右される農業経営の安定を図るため「農家経営安定資金」や既往債務の負担を軽減するための借換資金「農業経営負担軽減支援資金」などを取り扱っています。

また、住宅金融支援機構、日本政策金融公庫の取り扱いも行っております。

(3) 融資商品

組合員をはじめ、地域にお住まいの方々の暮らしや農業の振興、また地域経済の発展にお役に立てるよう、特別金利による融資商品をご用意しております。

- ・特別金利での「教育ローンキャンペーン」、「マイカーローンキャンペーン」を実施しております。
- ・住宅の新築や増改築のほか、他金融機関からのお借換えにもご利用頂ける住宅ローンやリフォームローンをお取り扱いしております。
- ・組合員の皆様の農業経営を支えるための資金として、広くご活用頂ける「アグリマイティー資金」や農機具・ハウス等の購入資金として「農機ハウスローン」等をお取り扱いしております。

文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

地域貢献活動の一環として、児童養護施設へのみりよく満点米贈呈、春には防霜対策本部を設置し、県や管内市町村と連携しながら地元農業を守る取り組みを行いうなど様々な活動に取り組んでいます。

また、食農教育として、管内小学校へ子供向け農業雑誌「ちゃぐりん」「交通安全傘」の贈呈などを行いました。



児童養護施設へみりよく満点米の贈呈



防霜対策本部設置式



食農教育雑誌「ちゃぐりん」と「交通安全傘」贈呈

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

ＪＡへの年金受給者による「年金友の会」でのゴルフ大会を実施、多くの参加者より好評を得ました。

また、農青連活動では、２８回目の開催となる「どろんこバレー大会」の開催。福島県農業総合センター農業短期大学の学生へＪＡ東西しらかわ「みりよく満点ブランド」の生産現地の視察・体験学習を実施、将来の農業生産に向けての新たな知見の提供とネットワークの拡大を図りました。

さらにＪＡ東西しらかわとＪＡ共済連福島は「ＪＡ共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催し、地域の子どもたちは、アンパンマンたちと一緒に交通ルールを学びました。



年金友の会ゴルフ大会



第２８回「どろんこバレー大会」



ＪＡ共済アンパンマン交通安全キャラバン



「みりよく満点ブランド」生産現地視察

(3) 情報提供活動

平成 13 年 3 月より、組合員と地域の皆様へＪＡの活動を発信するとともに、広いＪＡ管内のひとつの交流の場として、広報誌「かがやき」を毎月発行、准組合員向け広報誌として「かがやきフレンズ」の発行と地域全体への情報源とする「コミュニティ誌」も発行しております。

また、ホームページやＳＮＳを通じて、様々なＪＡ東西しらかわの情報を発信しております。

(4) 店舗体制

本店 1、営農センター 3、支店 6、直売所 3、ＡＴＭ設置台数 8